

大石早生の収穫を迎えていますが、6月上中旬の降水量は平年を下回り、果実肥大は停滞しています。また、夜温が低めで推移し生育の進みは、前年に比べ1週間は遅い状況です。これからは、特に病害虫の発生しやすい時期ですので、よく園内の状態を確認しましょう。主にシンクイムシ類や黒斑病が増加します。防除は散布間隔に気を付け、薬液が十分掛かるよう注意して下さい。

1. 薬剤散布 隣接園（特に収穫期の作物）に飛散しないように注意して下さい

《プラム》（前回から約10日後）

・散布時期：	7月上中旬（7月8日～7月12日頃）			・散布日 7月 日 ・散布量 ℓ
・散布薬剤：	水	100ℓ当り		
	展着剤（まくぴか）	20mℓ		
	⑧ バイスロイドEW	33mℓ	（14日前、2回）	*収穫前使用時期注意
	フルーツセイバー	66mℓ	（前日、3回）	
・対象病害虫：	アブラムシ類、（シンクイムシ類）、灰星病			
・散布量：	10a当り SS 500ℓ 動噴 600ℓ			
・注意事項	① 今回以降の展着剤は、シリコン系展着剤まくぴか5000倍を使用してもよい。（湿展性改善、果実汚染防止） ② 紅りょうぜんなど収穫時期が近い品種は、バイスロイドEW3000倍に代えてモスピラン水溶剤2000倍（前日、3回）を使用する。			

次回の散布（前回から約10日後）

・散布時期：	7月中下旬（7月18日～7月22日頃）			・散布日 7月 日 ・散布量 ℓ
・散布薬剤：	水	100ℓ当り		
	展着剤（まくぴか）	20mℓ		
	テッパン液剤	50mℓ	（前日、2回）	
	アルバリン顆粒水溶剤	50g	（前日、3回）	
・対象病害虫：	シンクイムシ類、カメムシ類、ケムシ類			
・散布量：	10a当り SS 500ℓ 動噴 600ℓ			
・注意事項	① 秋姫など黒斑病（かいよう病）の発生がある場合は、スターナ水和剤1000倍（7日前、3回）又は、バリタシン液剤5の500倍（14日前、4回）を加用散布する。 ② 降雨が多く腐敗病の発生がある場合は、オンリーワンフロアブル2000倍（前日、3回）を加用散布する。			

《プルーン》（前回から約10日後）

・散布時期：	7月上中旬（7月9日～7月13日頃）			・散布日 7月 日 ・散布量 ℓ
・散布薬剤：	水	100ℓ当り		
	展着剤	10mℓ		
	ベルコートフロアブル	50mℓ	（3日前、3回）	
	サムコルフロアブル10	40mℓ	（3日前、3回）	
	ダントツ水溶剤	50g	（3日前、3回）	
・対象病害虫：	灰星病、（すす点病）、シンクイムシ類、カメムシ類、アブラムシ類			
・散布量：	10a当り SS 500ℓ 動噴 600ℓ			
・注意事項	① 果実病害の重要な時期なため、果実にかかるよう十分散布する。			

3. 今後の管理他

シンクイムシ類の被害果は園地外へ除去するか、水没させて被害が増加しないようにしましょう。枝吊り、支柱立て、新梢整理をなど行い、農薬の薬液が十分掛かる明るい園にしましょう。

*スモヒメシンクイ発生予察状況—6月26日（19日）・倭3頭（0）・一本木2頭（3）・草間13頭（3）

次回特報は、7月17日配布。